

会員並びに関係者各位

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部 支部長 福島 宏治  
 技術部会長 渡邊 俊光  
 夢アイデア部会長 中川 裕  
 九州郷づくり共助ネットワーク研究会会長 針貝 武紀  
 共催：風景デザイン研究会

平成 30 年度 環境・都市等技術委員会・九州郷づくり共助ネットワーク研究会

## 共同開催セミナーのご案内

## 対流による地域活性化を目指して

～対流促進型国土を支える多様な活動について～

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

協会活動におきましては、日頃から格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、地域分権の進展にあつて、九州の農山漁村を主体とする地域での「共助ネットワークづくり」に向け、都市部と農山漁村部、あるいは農山漁村部相互の共助のあり方、また、農山漁村と都市とをつなぐ潮流は「田園回帰」から「対流」へと変革しています。これからは、農山漁村と都市における「対流」のみならず農山漁村と海外の「対流」や「農泊」の推進など、さらなる新たな「対流」の時代を迎えることが想定されます。

こうした状況からセミナーでは、「都市と農との共生するまちづくり」とした、持続可能な地域社会形成に向けて都市と地方の対流・地域社会支援のあり方について有識者や先進事例地から講演をいただき、今後の地域活性化に向けたまちづくりに従事する技術者にとっての有益な知見を得ることが出来ればと思っています。

つきましては、万障お繰り合わせの上ご参加下さいますようご案内申し上げます。 敬 具

- 開催日：平成 30 年 11 月 14 日（水）13:00～（受付 12:30～）
- 開催場所：リファレンス駅東 H-2 会議室
- 参加費用等：九州支部会員・九州郷づくり共助ネットワーク研究会・風景デザイン研究会—無料、その他—5,000 円
- 定員 150 名
- 内容：

1. 開会挨拶	13:00～13:05 (05)
---------	------------------

和泉 大作 環境・都市等技術委員会委員長、風景デザイン研究会幹事長

2. 講演 1	『持続可能な地域社会形成に向けた今後の 10 年戦略』	13:05～14:15 (70)
---------	-----------------------------	------------------

講師：藤山 浩（一社）持続可能な地域社会総合研究所所長

3. 事例紹介	『企業や団体と地域との関わり事例報告』	14:15～15:20 (65)
---------	---------------------	------------------

講師①：針貝 武紀 九州郷づくり共助ネットワーク研究会会長 (35 分)

山口 昌紘 九州郷づくり共助ネットワーク研究会会員

講師②：森 隆信 (株)オリエンタルコンサルタンツ地方創生事業部副事業部長  
 兼(株)瀬戸酒造店代表取締役 (30 分)

休憩	15:20～15:35 (15)
----	------------------

4. 講演 2	『これからの地域づくりにおいて技術者に期待すること』	15:35～16:45 (70)
---------	----------------------------	------------------

講師：高尾 忠志 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授

5. 事例講評	『建設コンサルタント技術者の業務やライフワークとしての地域との関わり方について』	16:45～17:25 (40)
---------	--	------------------

講師：藤山 浩所長、高尾 忠志准教授、進行波木 健一（共助研）

6. 閉会挨拶	17:25～17:30 (05)
---------	------------------

中川 裕 夢アイデア部会長

※このセミナーは、建設コンサルタンツ協会 CPD 制度の認定プログラム対象セミナーとなっています。

※送付状をつけずに、そのままFAXして下さい。

# 参加申込書

下記に必要事項をご記入の上、以下の期限までにお申し込み下さい。

平成30年11月7日(金)まで

また、参加証等は発行いたしませんので、直接会場へお越し下さい。

FAX : 092-434-4342

【お問い合わせ】(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部 事務局 TEL 092-434-4340

## ◇申込者

団体名	
担当者	E-Mail :

## ◇参加者

氏名	所属	備考

参加費： 会員無料  
非会員 (5,000円 × 人) 振込日 月 日

非会員の方は事前にお振込み下さい。なお、当日ご都合により欠席された場合は返金いたしません。代理の方を補充してご参加ください。

■振込先：福岡銀行 博多駅東支店 (普通) No. 1871177

(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部 事務局長 吉田 鉄治

## <会場案内>

〒812-0013

福岡市博多区博多駅東 1-16-14

リファレンス駅東ビル 3F H-2 会議室

TEL : 092-432-0058

■JR 博多駅 筑紫口より徒歩 10分

■福岡市市営地下鉄博多駅

筑紫改札口より徒歩 10分



※送付状をつけずに、そのままFAXして下さい。

# サテライト講習 参加申込書

下記に必要事項をご記入の上、以下の期限までにお申し込み下さい。

平成 30 年 11 月 7 日 (金) まで

また、参加証等は発行いたしませんので、直接会場へお越し下さい。

F A X : 0 9 2 - 4 3 4 - 4 3 4 2

【お問い合わせ】(一社) 建設コンサルタンツ協会 九州支部 事務局 TEL 092-434-4340

## ◇申込者

団体名		
担当者		E-Mail :

## ◇参加者

氏名	所属	サテライト希望会場 (希望会場を○で囲んでください)
		佐賀 ・ 長崎 ・ 大分 熊本 ・ 宮崎 ・ 鹿児島
		佐賀 ・ 長崎 ・ 大分 熊本 ・ 宮崎 ・ 鹿児島
		佐賀 ・ 長崎 ・ 大分 熊本 ・ 宮崎 ・ 鹿児島
		佐賀 ・ 長崎 ・ 大分 熊本 ・ 宮崎 ・ 鹿児島
		佐賀 ・ 長崎 ・ 大分 熊本 ・ 宮崎 ・ 鹿児島

九州支部会員は原則無料ですが、サテライト会場によっては有料となる場合もありますので、ご了承下さい。非会員は5,000円です。参加費は各サテライト会場でお支払いください。

## ※サテライト会場と定員

佐賀会場	九州技術開発(株) 会議室(佐賀市鍋島5-7-23)	定員: 30名
長崎会場	長崎卸センター組合会館 第1・2会議室(2F)(長崎市田中町1201)	定員: 60名
大分会場	ホルトホール大分 410会議室(大分市金池南1-5-1) (参加費: 本協会九州支部会員は1,000円/人を当日受付にて徴収)	定員: 50名
熊本会場	(株)九州開発エンジニアリング別館(熊本市東区健軍本町33-5-2F)	定員: 20名
宮崎会場	(株)晃和コンサルタント会議室(宮崎市大字本郷北方3009-1)	定員: 30名
鹿児島会場	(株)萩原技研会議室(鹿児島市山下町16-20)	定員: 50名

# 講演者プロフィール

藤山 浩 (ふじやま ひろし)

(一社) 持続可能な地域社会総合研究所 所長

略歴：博士(マネジメント)。専門は中山間地域施策、地域計画、地域人口分析、地域づくり、GIS分析。一橋大学卒業後、県立高校社会科教諭やコンサルタント、ニュージーランド留学、広島大学大学院国際協力研究科等を経て、1998年島根県中山間地域研究センターで中山間地域政策の研究に従事し、また、2009年からは島根県立大学 連会大学院教授を兼任、2017年に「(一社)持続可能な地域社会総合研究所」を設立し所長に就任。内閣府まち・ひと・しごと創生本部や総務省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省及び環境省などにおいて各種委員会の委員を歴任。

現在は、日本一の清流高津川の河畔、島根県益田市岩山に新居を構え田園生活中。

冬は29年間に渡り、100%薪ストーブで暖房。毎年6トンの薪割りが趣味。

高尾 忠志 (たかお ただし)

九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授

略歴：都市計画家、博士(工学)、技術士(建設部門)、風景デザイン研究会理事。専門は地域計画、景観、土木デザイン、市民参加、文化的景観。

東京大学大学院終了後、都市計画コンサルタントなどを経て、2014年より現職。長崎市景観専門監、由布市総合計画策定トータルコーディネーター、日南市中心市街地活性化事業チーフディレクターなどを務めながら、実践能力を養成する大学院教育プログラムの構築に携わる。その他、文化財を活用したまちづくりなど、幅広いテーマに取り組む。特に、自治体の公共事業における市民、行政職員、専門家の協働によるプロジェクトマネジメントが得意、また、まちづくりプロジェクトにおいて統括ディレクターや総合コーディネーターを経験。

2010年：土木学会デザイン賞奨励賞受賞。2015年：由布市市政功労者表彰

## 九州郷づくり共助ネットワーク研究会

(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部では、九州の農山漁村部と都市部とを結ぶ共助のネットワークづくりに向けて具体的な活動をすべく、平成20年「九州郷づくり共助ネットワーク研究会」(略称、「共助研」)を発足しました。この活動は、(一社)建設コンサルタンツ協会による社会貢献活動の一環として進めながら、多くの地域や学識者、活動家の方々との開かれたネットワーク形成を図ることにより、これからの社会を支える「新しい公共」の一端を担うものであると考えています。

私たちは、人口減少と高齢化が進む農山漁村の現場に入り込んで地域支援活動を行い、地域の方々から心温まる感謝の声や多くの感動と発見を体験したことから、共助研の存在・活動(社会的な機能)が、現在の農山漁村部と都市部とを結ぶ団体として求められていると考えています。

森 隆信 (もり たかのぶ)

(株)オリエンタルコンサルタンツ地方創生事業部副事業部長兼(株)瀬戸酒造店代表取締役